

「福井新々元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井県民の将来ビジョン」に基づき、「福井新々元気宣言」の「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」に掲げられた政策等を実現するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成25年4月

福井県知事 西川 一誠
総務部長 石塚 博英

I 25年度の基本方針

県立大学の改革やグローバル人材の育成を図ります。

第2期中期計画に基づき、語学教育の充実、教員評価制度による研究費配分などの大学改革や恐竜学研究の充実強化を県立大学とともに進めます。

「アジア人材基金」を活用し、学生・社会人の海外留学等やビジネスマナー講座の開講等による外国人留学生の県内への就職支援により、グローバルな人材の育成を進めます。

挑戦する気概を持つ若者やリーダーを目指す女性を応援します。

他県の若者との交流や若者自身が企画する地域活性化プランの実施を支援するなど、若者のチャレンジ活動を応援します。

女性が生き生きと活躍できるよう、女性の意欲と能力を引き出す職場や家庭づくりを進めます。

国体および全国障害者スポーツ大会に向けて着実な準備を進めます。

新たに決定するマスコットキャラクターの活用や広報用横断幕の学校への掲出などにより、国体の気運醸成を図ります。加えて、全国障害者スポーツ大会の正式競技会場地を選定するなど、両大会の準備を着実に進めます。

ふるさと創造プロジェクトを着実に推進します。

歴史や文化などの地域資源を積極的に活用し発展させる「ふるさと創造プロジェクト」を全市町で推進し、ナンバーワン・オンリーワンのふるさとづくりを進めます。

「長期の財政収支見通し」を活用し、健全財政を堅持します。

新幹線などの大型プロジェクトの本格化に備え、平成25年3月に公表した「長期の財政収支見通し」を指針とし、引き続き行財政改革を進めます。

Ⅱ 25年度の施策

1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業

◇ 福井本拠にグローバルシフト

○県立大学改革の推進【部局連携】

- ・魅力ある大学づくりを目的とした第2期中期目標（平成25年度～30年度）の達成に向け、語学教育の充実をはじめ、教員評価制度に基づく研究費の配分など、中期計画に基づく改革を県立大学とともに着実に進めます。また、県内入学者および県内就職者の拡大、地域経済研究所による県内企業のアジアビジネス展開への支援等を行います。

○恐竜学研究の充実強化【部局連携】

- ・県立大学に設置した恐竜学研究所において、年間を通じて、恐竜学や地球生命史学など恐竜学関係の講義を実施します。
- ・恐竜化石の共同発掘など他大学や研究機関との交流を進め、世界的に高い評価を得ている研究部門の学術的なレベルをさらに高めます。

○福井を支えるグローバル人材の育成

- ・「福井県アジア人材基金」を活用し、県内学生や社会人に対する海外留学の支援やアジア経済に関する研修を行います。
- ・国外からの留学生を積極的に受け入れるとともに、県内企業に就職する際の給付金の給付やビジネスマナー等に関する講座の開催により、外国人留学生の県内企業への就職を促進します。

県内学生等の長期海外留学者数
(平成24年度 19人)

30人

2 すぐれた医療と支えあいの福祉

◇ 「一役を分担」の地域活動【部局連携】

○ふるさと集落の活性化

- ・地域おこし協力隊の受入れや定住、新たに若者が参画して実施する伝統行事の継承、地域の特産品開発等の活動を支援します。

新たにふるさとを元気にするための活動を行う集落数	10集落
(平成24年度末 85集落)	(累計95集落)

3 若者のチャレンジと女性の活躍を応援

◇ 若者にチャレンジの場

○若者のチャレンジ活動を応援

- ・若者自身が企画・運営する研修会や活動発表会、農業体験や伝統行事などの里山活動、ふるさと知事ネットワーク参加県である三重・山形の若者グループとの県外交流など、若者のチャレンジ活動を応援します。
- ・若者が企画する優れた地域活性化プランの実施を支援し、福井を元気にする活動を始める若者を増やします。

新たにチャレンジ活動をする若者の数	330人
(平成24年度 326人)	

◇ 働く女性に活動のゆとりを【部局連携】【共同研究】

○女性リーダーの出やすい社会づくりの促進

- ・働く女性の相談役となるメンターの養成や「ふくい女性活躍支援企業」の登録をさらに進め、女性が活躍しやすい職場環境を整備します。
- ・リーダーに必要な知識を学ぶ「未来きらりプログラム」を実施し、管理職となる女性を育成します。
- ・「家事チャレンジ検定」や家事を実践する男性が自らの活動を発信することを通じて、男性の積極的な家事参加を促進します。

「女性活躍支援企業」に登録する企業 (平成24年度末 95社)	15社 (累計110社)
「家事チャレンジ検定」受験者数	600人

4 国体を目指す県民スポーツ、生活のなかを楽しむ県民文化

◇ 飛躍する福井のスポーツ

○第73回国民体育大会および第18回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備

5 未来を支える人づくり

- ・マスコットキャラクターのデザイン・愛称を決定します。また、広報用横断幕を市町や学校に掲出し、開催を盛り上げる広報活動に努めます。
- ・国体の式典基本構想をはじめ、県民運動、宿泊・衛生、輸送・交通、警備・消防の各分野の基本計画等を策定します。
- ・「全国障害者スポーツ大会」の基本方針を策定し、正式競技会場地を選定します。また、国体準備委員会を国体と全国障害者スポーツ大会を準備する準備委員会に改編し、両大会の開催準備を効率的かつ一体的に進めます。

5 行財政構造改革の推進

◇ 県民・市町との「共働」システム

○ボランティア活動や県民と共働した新たな公共サービスの促進

【部局連携】

- ・「社会貢献活動支援ネット」を活用し、県に加え市町や社協においても県民ニーズに応じてボランティア希望者と募集团体を結び付けることができるようにします。
- ・地域で活動するNPO等と社会貢献活動に参加意欲のある元気な高齢者とのマッチング会を開催し、アクティブシニアの社会貢献活動を促進します。

社会貢献活動支援ネットへのボランティア希望者の登録数	280名
(平成24年度末 120名)	(累計 400名)
過去1年間にボランティア活動に参加した人の数(18歳以上)	34.5%
(平成24年度 33.4%)	
アクティブシニアのマッチング会への参加者数	100人

○市町との共働

- ・歴史や文化、食や町並みなど、自らの地域資源を若者の視点も取り入れながら活用・発展させ、全国に誇りを持って発信できる「ふるさと創造プロジェクト」を全市町で推進します。

◇ 質の高い政策をめざす県庁

○職員の実践的な語学力向上

- ・若手職員を対象に、英語での電話応対や海外からの来訪者に対するプレゼンテーションなどを学ぶ「チャレンジ語学研修」を行い、平成26年度末までに業務に活用できる語学力を有する職員を150人に増やします。
- ・業務に活用できる語学力を備えた職員を国際会議や国際的な事業などの場において積極的に活用していきます。

TOEIC600点以上（日常会話が支障なくできるレベル）	
の職員を養成	17人
（平成24年度末 113人）	（累計130人）
うち、TOEIC730点以上（業務上のやりとりが支障なくできるレベル）	
の職員を養成	10人
（平成24年度末 55人）	（累計65人）

○県税収入の確保

- ・個人県民税について、県と市町が協力して特別徴収の拡大を図ります。一方、滞納者に対しては「福井県地方税滞納整理機構」による適正な滞納整理を行い、県税収入の確保に努めます。

県税収入率	全国9位以内
（平成23年度 12位）	チャレンジ目標 全国7位以内
（平成24年度 10位（見込））	

○県有財産の有効活用

- ・利用予定のない県有地について積極的に売却や貸付等を進めます。
- ・県職員、教職員、警察官による所管部局を越えた職員住宅の共同利用を進めます。

県有財産売却・貸付等（平成24年度 1億1千万円）	1億2千万円
---------------------------	--------

◇ 「第三次行財政改革実行プラン」の策定

○コンパクトな行政の推進

- ・事務事業の終了やアウトソーシング等により、職員数の適正な管理を継続します。
- ・仕事の進め方の改善や成果が乏しい事業の見直しなどを進め、職員の超過勤務を1割以上減らします。

1人当たりの超過勤務時間数	年間150時間
(過去3か年平均 年間約171時間)	

○健全財政の堅持

- ・新幹線や国体などの大型プロジェクトの本格化に備え、「長期の財政収支見通し」を指針として活用しながら、行革プランに基づく歳入の確保、歳出の合理化を進め、将来に向けて健全な財政運営を堅持します。

財政指標	財政調整基金等の25年度末残高	155億円
	(平成24年度末残高 279億円)	
	県債の25年度末残高(臨時財政対策債を除く)	5,600億円
	(平成24年度末残高 5,871億円)	
	地方財政健全化法に示す健全化判断比率	
	実質赤字比率 (平成24年度 黒字)	黒字
	連結実質赤字比率 (平成24年度 黒字)	黒字
	実質公債費比率 (平成24年度 17%程度)	18%未満
	将来負担比率 (平成24年度205%程度)	210%未満

◇ 150億円の「政策推進枠予算」を確保

○政策推進枠予算の財源確保

- ・成果主義による事務事業の見直し等を着実に実行し、政策推進枠予算の財源を確保します。

政策推進枠予算(一般財源)	42億円
(平成24年度まで 116億円)	(累計158億円)